

ちほの おしゃべりタイム



日々是好日



オフィスPrima 代表
フリーアナウンサー
ビジネスマナー講師

とおる ちほ
透 千保

東海地方の各放送局(岐阜放送/ぎふチャン、FM GIFU、東海ラジオ、メ〜テレなど)で数多くの番組やニュースを担当。司会、ナレーションの他、名鉄電車、名古屋市営地下鉄など、公共交通機関のアナウンス放送に携わる。一方、企業・大学において、ビジネスマナー、電話応対などの研修講師を務め、人材育成に取り組んでいる。

また新しい年が巡って来ました。最近では、久しぶりに開催される催し物で、再会した人たちと交わす何気ない会話に心躍らせる機会も増えてきました。

表千家同門会岐阜県支部主催の「茶の湯文化にふれる市民講座」も3年ぶりに開催され、エッセイストの森下典子さんの講演会が行われました。森下さんが執筆した『日日は好日「お茶」が教えてくれた15のしあわせ』は、68万部を超えるベストセラーになり、英語、フランス語、イタリア語など世界8カ国語に翻訳されています。さらに、このほどイタリア外務省が設立した伊日財団より「第1回日伊ことばの架け橋賞」を受賞したそうです。2018年には映画化も実現。黒木華さん、樹木希林さんが出演し、大きな感動を呼んだことは記憶に新しいところです。

講演会では映画撮影時のエピソードを中心に話が進み、1つの映画を制作するまでの膨大な作業から、樹木希林さんの俳優としての生き様、お茶を通して得られた多くの気づきが語られました。あらためて本を読み返してみると、今この時代だからこそ胸に迫るものがあります。

私も20代の頃、親の勧めで何となくお茶の教室に通っていました。教室が放送局の近くにあり、番組を担当した後、お稽古に行くことが日課になっていました。お茶を始めた当初は決まり事を覚えるのに精一杯で、何のためにするのかかわからないまま続けていたように思います。しかし、続けているうちに、四季折々の風情を映し出すお菓子、お道具の取り合わせ、床の間の掛け軸の意味など、その出会いが楽しみになっていたことを思い出しました。

仕事が忙しくなってお茶は中断してしまいましたが、その経験は私の人生の糧となりました。「世の中には「すぐわかるもの」と、「すぐにはわからないもの」の2種類があり、後になって少しずつじわじわとわかるものがある」この森下さんの言葉の意味が、ようやくわかるような気がします。

禅語である「日日は好日」は、こんなふう解釈されているようです。私たちの人生には晴れの日ばかりではなく、雨の日や風の日もある。しかし、この一日は二度と来ないかけがえのない一日である。あるがままを受け入れ、この一日を全身全霊で生きることができれば、まさに日々は好日となる。

それは、ルーティンワークのように日々を過ごすのではなく、一日一日を大切に生きようというメッセージであり、そのような心の持ち方ができれば人生は輝くという教えでもあります。季節は同じ様に巡って来ますが、こうしてつつがなく新年を迎えられたことに感謝し、毎日が好い日だと思えるようにこの一年を過ごしていきたいものですね。